

## 2023年日本民間放送連盟賞 中部・北陸地区審査会で HAB制作のドキュメンタリー番組が1位に選ばれました！

### 【受賞作品】HAB報道特別番組 沈黙の月「寺越事件」忘れられた母子

HAB北陸朝日放送で制作し、2023年5月29日(月)深夜に放送した「HAB報道特別番組 沈黙の月『寺越事件』忘れられた母子」が、2023年日本民間放送連盟賞 中部・北陸地区審査会テレビ報道番組部門において1位に選ばれました。

受賞番組は、60年前に漁に出て行方不明になった息子が、その後北朝鮮で生存していた「寺越事件」を追ったドキュメンタリー。ディレクターを務めた中島佳昭記者は16年間にわたり、翻弄される母の取材を続けてきました。

審査会では、長い年月をかけて取材対象者とのしっかりした人間関係を築かなければ撮れない映像が多く、地方局ならではの継続取材が光った点や、拉致被害者との生き方の対比を通して、国家に翻弄された人生を描いた点などが評価されました。

この番組8月に行われる全国審査会へ進みます。



#### 「HAB報道特別番組 沈黙の月『寺越事件』忘れられた母子」

1963年5月、石川県志賀町の沖合で寺越昭二さん、外雄さん、当時中学2年生の武志さんが漁に出たまま行方不明となった「寺越事件」。武志さんの母・友枝さんの取材を16年間続けたHAB中島佳昭記者の目線で、世間から忘れ去られようとしている「寺越事件」を記録し、伝えた。

#### ディレクター 中島佳昭記者のコメント

先輩記者の時代から継続してきた取材が、番組として記録に残り、権威のある日本民間放送連盟賞の中部北陸地区審査会で高く評価していただいたことに感謝の気持ちで一杯です。取材にご協力いただいた寺越友枝さん、並びにご家族の皆さんに改めて感謝申し上げます。時間の経過とともに風化しつつある寺越事件を1人でも多くの人に伝えていけるようこれからも頑張っまいります。この度は本当にありがとうございました。